

◆◆特集◆◆

★第4次社会資本整備重点計画について★

(国土交通省 総合政策局 参事官 (社会資本整備))

平成27年9月、今日の社会資本整備を巡る状況の変化を踏まえ、平成32年度までのおおむね5年間の社会資本整備の基本的な方向性を定める第4次社会資本整備重点計画を閣議決定しました。

本稿では、第4次重点計画のポイントを中心に、その概要を紹介します。

◆◆道路占用Q&A◆◆

★地域における公共的な取組みに要する費用への充当を目的とする  
広告物の道路占用の取扱いについて(その2)★

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

地域における公共的な取組みに要する費用への充当を目的とする広告物の道路占用の取扱いについて解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★オフィス街ロードクリーン2015★

(国土交通省 道路局 国道・防災課)

10月6日(火)朝、東京都内の中央官庁や民間のビルに勤務する人たちや地元町会などのボランティアによる歩道の清掃が行われました。

当日は、晴天20℃という爽やかな天気の下、約1,000人と多くの方々のご協力をいただき、タバコの吸い殻などのゴミ、枯葉、銀杏など、延長約10kmの歩道を清掃しました。

## ◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

### ★道路管理瑕疵の未然防止に向けた取組みについて★

(国土交通省 九州地方整備局 道路部 路政課)

道路管理瑕疵は、道路利用者に無用な損害を与えるものであり、また、その損害の賠償は公金を原資として行われるものであることから、道路管理者においてはその解消に向けた不断の努力が求められる。

本稿では、当地整管理道路における道路管理瑕疵の発生状況・傾向を概観した上で、昨年度（平成26年度）に当地整管内で発生した道路管理瑕疵案件から得られた教訓等を抽出・紹介するとともに、得られた教訓等を現場の道路管理へフィードバックするための仕組みとして活用している「SSP（スムーズ解決プロジェクトチーム）」の活動を紹介します。

.....

### ★橋梁アセットマネジメントの取組み★

(青森県 県土整備部 道路課 橋梁・アセット推進グループ)

青森県では高度成長期に建設された橋梁の近い将来における大量更新時代が想定されたことから、橋梁の維持管理を計画的に行うため、平成15年度よりアセットマネジメントの検討を開始し、長期的な視点から橋梁を効率的・効果的に管理し、維持更新コストの最小化・平準化を図っていく取組みを実施しています。

本稿では、システムの導入、橋梁アセットマネジメントの実践のための運営体制や職員や関係者の技術力向上に関する取組みを紹介します。

.....

### ★みちのくトンネルの天井板撤去について★

(青森県 県土整備部 道路課 企画・市町村道グループ)

平成24年12月の中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故を踏まえ、直後に当トンネルの天井板の緊急点検を実施しましたが、その際、異常は認められず、当面の通行安全性は確認されたところです。しかしながら、更なる老朽化が進んだ場合等を勘案し、撤去することとしました。

本稿では、天井板撤去の際の工法の検討、交通規制、撤去後の状況等について紹介します。

## ◆◆編集後記◆◆

冷え込みも厳しくなり本格的な冬が近づいてきました。この時期になると気になるのが“大掃除”です。1年の締めくくりとして、また、新年を気持ちよく迎えるために欠かせず行うようにしています。

江戸時代、新年の安泰と五穀豊穡を祈願し、新しい年の歳神様を迎えるために煤を払うとともに、1年の厄を払い清める「煤(すす)払い」が、正月事始め(新年を迎える準備を始める日)である12月13日(旧暦)に、江戸城にて執り行われていました。これにならって、庶民の間でも家屋の煤を払うことが定着し、次第に、今日のような年末に“大掃除”を行うという習慣へと変化していったようです。神社仏閣では、歴の改正(明治6年)があつて以降も12月13日に「煤払い」を行っているところも多く、テレビのニュースでその様子を見ると、いよいよ“大掃除”の時期になったのだと、わが家の“大掃除”を計画する合図としています。

“大掃除”の際は、家の中を整理整頓するところから始めて、普段、手の行き届かない場所まで念入りに掃除をすることにしています。気がつくと懐かしい写真や本を見つけて脱線し、朝から晩までやっても終わらなかったことや、年末の忙しさにやる気を失い、手つかずのまま新年を迎えてしまったこともありました。そこで、2年ほど前から、確実にを行うための工夫として計画的に進めることにしました。例えば、1日目はクローゼットの服や本棚の整理、2日目はお風呂のカビや水垢、3日目はキッチンの換気扇の汚れ落としなどのように、家の中をいくつかのブロックに分けて、毎日1時間を目安に1週間かけて取り組むようにしました。こうすることで、平日の夜でも出来るため、年末の休みに入った頃には“大掃除”が完了し、ゆとりのある年末を過ごすことができます。

また、普段から汚れを溜めこまないようにしておくのと、“大掃除”の際には苦勞せずに済みます。特に、キッチンは、換気扇の油や排水溝のぬめりなど頑固な汚れが多く“大掃除”では最も手間がかかります。そこで、「重曹スプレー」(重曹を水に溶きハンディスプレーに入れたもの)を使って、汚れたらすぐに落とすようにしています。アルカリ性である重曹は、油やぬめりのような酸性の汚れを中和し、汚れを浮かせてスルッと簡単に落としてくれます。また、粒子がやわらかいため、擦っても傷つけることなくシンクや排水溝を綺麗にしてくれるのでおススメです。

今年の合図ももうすぐです。きちんと計画を立てて、1週間で“大掃除”を確実にを行い、新しい年を気持ちよく迎えたいと思いますが、江戸時代では、“大掃除”が終わると、1年の厄を落とす意味を込めて、その家の主人を始めとする一同の胴上げをして回ったそうです。また、蕎麦や汁物がふるまわれ、夜遅くまでお祭り騒ぎをしていたようで、この楽しそうな風習が現代でも復活すれば、“大掃除”を1日で終わらせられるほどのやる気が湧いてくるのかもしれない。(K)